

こちまさこ 出版記念講演会



1925年兵庫県加東郡(現・加東市)社町生まれのこちさんは、1960年代のラジオ関西「兵庫あちこち」、神戸新聞「兵庫女風土記」の取材を契機に、日本敗戦直後史と女性史の研究を始まりました。そして今夏7月、2冊の本を出版されました。『一九四五年夏 満州 - 七虎力の惨劇 -』は、取材の過程で出会った元「第七次満州集団七虎力開拓団」の人々のことを綴ったものです。『一九四五年夏 はりま 相生事件を追う』は、兵庫県相生の播磨造船所に強制連行された3名の中国人が戦後・1945年9月13日に相生の棧橋で「変死」の事実を知ったこちさんが、その真実を追い求めた記録です。この度、2冊の本が北星社より出版されたのを記念して講演会を開きます。

日時：2008年11月1日(土) 14:00

会場：神戸学生青年センターホール TEL 078-851-2760

講演：『一九四五年夏 満州 - 七虎力(しちこりき)の惨劇 -』
『一九四五年夏 はりま 相生事件を追う』

講師：こちまさこ(古知正子)さん(作家、姫路市在住)

参加費：600円(学生300円)

主催：神戸港における戦時下朝鮮人・中国人強制連行を調査する会(代表・安井三吉)
神戸・南京をむすぶ会(代表・佐治孝典)
神戸学生青年センター(館長・飛田雄一)



問合せ先：神戸学生青年センター / 〒657-0064 神戸市灘区山田町 3-1-1

TEL 078-851-2760 FAX 078-821-5878 <http://ksyc.jp/> hida@ksyc.jp